



毎月十五日発行
所大社
社像像
宗像 宗像
〒811-3505 福岡県宗像郡志摩町
電話 0940-1311(代)
http://www.munakata-taisha.or.jp/
定価 一年送料共 1000円

節分祭齋行

鬼は外・福は内

きた儀式で、一人は表鬼門(東北)の天宮に向け、もう一人は裏鬼門(南西)の地上に向けて、蒼矢桃矢をそれぞれ三度射て天地の邪気を清め、悪魔を敷うのである。



鳴弦の儀が終わると、いよいよ豆打式が始まった。折願殿階段上で神島権司の前導で、鬼は外! 福は内! の第一声を唱え、太田宮司以下神職と裃姿の年男代表十九人がビニール袋に入った福袋・豆、餅、お菓子等を受け取り、向かって一斉に撒き、賑やかな内に全ての儀式を終えた。

二月三日、恒例の節分祭が折願殿で盛大に斎行された。

前日迄の寒さも和らぎ小春日の中での祭典となった。地元幼稚園児の外、氏子会役員、総代、郡市の議員等約百人が参列する中、午前十時、太田宮司以下神職は祈願殿に参進。まず、神前にお供えされた約一万袋の福豆袋を神職よりお配りの

後、宮司が今年一年の無病息災・延命招福を祈る祝詞を奏上、続いて宮司、安部氏子会々長以下参列者代表等が拝礼、最後に幼稚園児代表が神前に進み、小さな手を合わせてお祈りした。引き続き神職二人により「鳴弦の儀」が、折願殿正面階段上にて行われた。鳴弦は悪魔退散の行事として大島村の人々が集う中、節

株式会社 井筒

神具・装束
結婚式場用品
福岡店 福岡市博多区東公園一三三(42、45)
電話 福岡(092)六六一-1945(六六番)
本店 京都市下京区油小路六条北入(60、82)
電話 京都(075)三四三-1334(代)四番
電話 三四三-1334(一三番)

木組の家

総合建設業 株式会社 弘江組
事務所 811-3406 福岡県宗像市大字桶元一〇二五
電話 (0940)三二二五六七

第四十八回 文化財防火デー訓練

宗像地区消防本部他出動

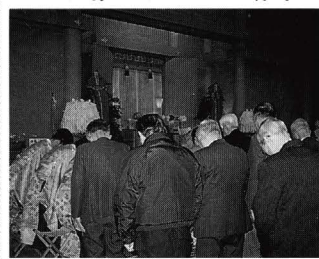


この運動は全国的に広がりをみせ、今日では国宝・文化財を要する自治各地の神社・仏閣にて防火訓練が行われており、テレビ、新聞等でも報道され運動の強化が図られている。

宗像警署管内の宗像町、第一分団、第二分団、第三分団、宗像署、警署四駐在所に於ける防火訓練は、大社でも重要な文化財である。当津宮本殿・拝殿をはじめ神宝館には十、二十万点以上にも及ぶ文化財を所有しており、この国民の宝を守る為、毎年本社職員は勿論地域をあげて防火訓練を行っている。

冷たい雨が降りしきる中、午前九時五分、本殿裏の森より出火。本・拝殿に火勢が迫っているとの想定で発煙筒が放たれ、炎に見立てた赤い旗が立てられた。

火災報知器のベルの音と共に、本殿授与所の巫女から火災発生を社務所に通報。神島権司の指令を受けた本社自衛消防団は直ちに現場へ急行。先ず施設消火班



追う行事が伝わり、社寺や各家庭で季節の行事として行われるようになってきた。

「節分祭」を境に、神郡宗像も北風に凍えていた樹々が、その枝先に緑を芽吹かす。徐々に春の到来と移ってゆく。

この運動は全国的に広がりをみせ、今日では国宝・文化財を要する自治各地の神社・仏閣にて防火訓練が行われており、テレビ、新聞等でも報道され運動の強化が図られている。

宗像警署管内の宗像町、第一分団、第二分団、第三分団、宗像署、警署四駐在所に於ける防火訓練は、大社でも重要な文化財である。当津宮本殿・拝殿をはじめ神宝館には十、二十万点以上にも及ぶ文化財を所有しており、この国民の宝を守る為、毎年本社職員は勿論地域をあげて防火訓練を行っている。

冷たい雨が降りしきる中、午前九時五分、本殿裏の森より出火。本・拝殿に火勢が迫っているとの想定で発煙筒が放たれ、炎に見立てた赤い旗が立てられた。

火災報知器のベルの音と共に、本殿授与所の巫女から火災発生を社務所に通報。神島権司の指令を受けた本社自衛消防団は直ちに現場へ急行。先ず施設消火班

御 礼

正月祭齋行に際しましては宗像警察署、玄海町消防団を始め各関係諸官庁、地元氏子各位の御協力により祭典を始め、諸行事を無事盛大裡に斎行することが出来ました。ここに紙面をかり、謹んで御礼申し上げます。また共に、皆様方の益々の御繁栄を心より祈念申し上げます。

平成十四年二月吉日
宗像大社社務所
各位御一同様

本年も「紀元節」(建国記念の日)を迎えた。この日を迎えるに必ずと言っていい程、奉祝の行事と共に反対運動、天皇制否定の集会があらちで行われる。皇室もお祝いされた、否定されたりと大変である。

反対論者の主張は、この日の制定に史実としての根拠が無く、架空の事象、人物をもとに制定されたものであり、実証できないというものである。しかし我が国のように、千数百年の歴史を有し、しかも有史以前の事象について、果て実証できるものが存在するだろうか。あくまでも想定の外を免れず、それは国家の起源とされるのが、世界史においても通説ではなからうか。

この日の制定は、推古天皇十年(六〇二)、暦法(伝承)の巡り合わせで、一巡する六十年毎に革命があり、辛酉の年に革命が、特に一元(〇年)の二十一倍にあたる一部の二、三〇年の辛酉の年には国家的大革命が起るとされる議院説によるものである。つまり、推古天皇九年が辛酉の年にあたり、その頃は聖徳太子による発覚全国政革命が行われていた時期でもあり、神武天皇の建国(二六〇年)さかのぼった、正月一日と推定されたのである。

本年は皇紀三六六二年にあたる。神武天皇が和和の歌の撰で即位されたから年数である。この皇紀は「紀元節」は史実であった。これが民俗の歴史であり、国民感情というものであらう。



第四十五回

宗像マラソン大会

一月十日(日)今年で四十五回目を迎える宗像マラソン大会(主催:宗像市・那体育協会、西日本新聞社)



後援:宗像大社、宗像地区教育事務連絡協議会、玄海町観光協会、玄海町体育協会の開催で、約千人のランナーが初春の宗像路を駆け抜けた。

この大会は地方の草分け的存在であるばかりでなく、新人ランナーの登龍門としても有名である。距離は十

キロ・五キロ・三キロ(男子一般・学生、同高校生、同中学生、女子一般・学生、同中学生、健康マラソン)の三部六種類に分かれ、各部で優勝を競った。

当日は早朝より選手、保護者が当大社第一駐場に集まり、グループごとに準備体操。午前九時過ぎから安全を祈念し神職から御祝いを受け、同十分から開会式が行われた。神島権宮司の挨拶の後、競技説明を行い、午前十時男子中学生の部を皮切りに各種目が順次スタート。日曜日とあって参加者も多く力走する選手に寒さを忘れて大きな声援を送っていた。

各部の上位入賞者、記録は次の通りです。

- 三キロの部**
- 中学生男子の部
 - 一位 豊川 晋平 (北九州市・高須中)
 - 二位 タイム 九分十四秒 (北九州市・高須中)
 - 三位 久保田 裕亮 (宗像市・日の里中)
 - 中学生女子の部
 - 一位 立石 恵里華 (宗像市・城山中)
 - 二位 タイム 十分一十一秒 (北九州市・高須中)
 - 三位 山下 めぐみ (宗像市・城山中)
 - 高校生男子の部
 - 一位 石松 昭章 (宗像市・東海第五高)
 - 二位 タイム 十六分八秒 (北九州市・高橋高)
 - 三位 佐々木 崇成 (北九州市・八幡高)
 - 五キロの部
 - 高校生男子の部
 - 一位 石松 昭章 (宗像市・東海第五高)
 - 二位 タイム 十六分八秒 (北九州市・高橋高)
 - 三位 佐々木 崇成 (北九州市・八幡高)
 - 一般・学生男子の部
 - 一位 有隅 賢吾 (相模原)
 - 二位 タイム 十五分、十五秒 (福岡県警)
 - 三位 古屋 正伸 (福岡県警)
 - 一般・学生女子の部
 - 一位 井上 知美 (相模原・宇美商業高)
 - 二位 タイム 十七分三十四秒 (小島 絵里)
 - 三位 龍野 智子 (粕谷郡・宇美商業高)
 - 十キロの部
 - 一般・学生男子の部
 - 一位 山田 吉秀 (福岡県警)
 - 二位 西 政彦 (陸上自衛隊・小倉)
 - 三位 渡辺 健志 (お菓子の香梅)

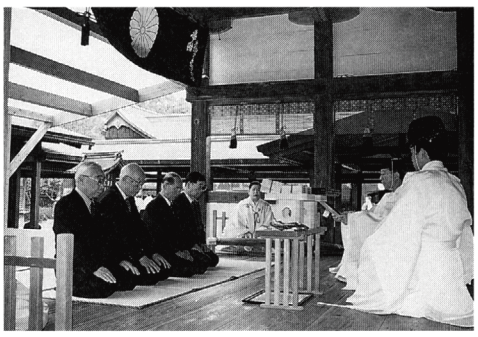
初詣 (二月十一日～二十一日)

- 一月十一日(金)**
- 出光興産(株)北海道支店
 - 北海道出光会道東支部
 - 宗像大社奉賛会、出光ビーエーエスエフ(株)
 - トヨタ自動車九州(株)
 - 九州旅客鉄道(株)博多車掌区、(株)ジェイアール西日本福岡メンテック、博新車両工業(株)
 - 九州旅客鉄道労働組合
 - 日本たばこ産業(株)福岡支店、(株)安川ビジョンスタッフ、ニッポンレンタカー九州(株)
 - 西鉄建機(株)、西鉄モーター(株)、豊通運輸(株)
 - 第十九普通科連隊本部
 - 管理中隊、江藤工業(株)、江藤工業協賛会、(株)高田工業所、南福
- 一月十二日(土)**
- 出光興産(株)本社、西日本旅客鉄道(株)広島支社岩国運転区・福岡支社博多新幹線別荘区
 - 西日本旅客鉄道(株)徳山地域鉄道部徳山乗務員センター、J.R九州南福岡電車区、日本通運(株)門司海運支店
 - 西鉄電気工業(株)、ヤマザキ製パン福岡工場
 - 九州乳販売(株)、東洋化学(株)、大成ロテック(株)、日本トランスシテイ福岡営業所・北
- 一月十三日(日)**
- 三島光産(株)、トヨタ自動車九州(株)塗装課、西日本旅客鉄道(株)博多営業所所管センター、山田照明(株)福岡支社
 - 丸九都運輸、宏和建設(株)、(株)テラテック
 - オートサロン水松、(有)朝日新聞上杉販売
 - (有)くろがね海運商會、平田運送(有)、アイエス(有)、(有)ティーケーシー、(有)誠友筑炉、新永運輸(有)、春日板金工業所、(有)植田建設、(有)びす瓦工業、(有)タカス運輸、宮田・若宮地区安管・安協協議会
 - 福岡県二輪車安全普及及協会折尾支部、玄海町消防団、北九州三



- 一月十四日(月)**
- 社初詣ジョイロード大分支店
 - (株)山辺金属、(株)木下商会、(株)アソシエイト
 - 松田屋、(医)石橋医院、(有)エム・ケイ・システムズ、岩井運送(有)、(有)ハッピー
 - (有)ニューひかり、小野田商業開発(株)、福岡県トラック協賛同司分會、直方市北九州市岡森用水組合、(有)寺門六番園、ワールド
- 一月十五日(火)**
- 出光興産(株)トクヤマ製油所、出光石油化学(株)徳山工場、出光オイルランドガス(有)開発
 - 全日本空輸(株)、出光徳山建設保協力會、西鉄産業(株)建築
- 一月十六日(水)**
- 事業本部安全衛生委員
 - 會、J.R西労徳山分會乗務員會、三菱ガス化学(株)、新エネルギー・産業技術総合開発機構九州支部、サンキエウビジネスサービス(株)、田辺製菓(株)
 - 福岡営業所、(株)エフ・
- 一月十七日(木)**
- ティ・エス、(有)コーセツ、(有)九庄物流、メイト園芸、ワールド
 - 日鉄運輸(株)、森羅會、山崎製パン製菓課
 - 日鐵運輸(株)、異島電設(株)、(株)城野印刷所、
- (金)**
- 出光タンカー
 - 1(株)IT
 - 安協協力会
 - 出光興産(株)
 - 愛知製油所
 - 出光オイル
 - エスエム、
 - トヨタ自動車九州(株)、
 - (株)武田運輸
 - 商會、(株)武田運輸船會、(株)武田運輸船會、
 - 武田石油機、
 - 昭和シエル
- 一月十九日(土)**
- 出光興産(株)海外部、
 - 出光石油化学(株)、出
- 一月二十一日(日)**
- トヨタ自動車九州(株)総
 - 組立第一部第一組立
 - 課組立技術室、沖繩
 - 石油精製(株)、福山通
 - 運(株)福岡南営業所、
 - 日田地区交通安全協会
 - 前津江支部
 - 九州シッピング(株)、
 - 鮎川産業(株)、久米電
 - 気、西鉄学園

献米奉告祭齋行



新春の一月十三日(日)午前十一時より、当社恒例の献米奉告祭が、氏子総代多数参加のもと厳粛に斎行された。

献米奉告祭は、好天に恵まれ早朝より多くの参拝者の賑いの中、太田宮司以下神職、氏子奉賛使、午前十一時、参列者は齋館前より参進し、祓香にて祓いを受け、本殿へと向かった。一鼓を合図に平成十四年献米奉告祭が始まった。

神前には海山山野の種々の神饌に、献品していただいた新穀、鏡餅等も御供えされ、太田宮司が祝詞奏上され、氏子奉賛使が祭詞を奏上した。

春秋の大祭同様この祭典では、宗像郡市内の氏子の代表が奉賛使を務める事となっており、今年も宗像郡津屋崎町の中野政登氏が御奉仕された。

宮司、氏子長並びに参列者代表が祈念をこめ、玉串拝礼を行い、祭典は滞り

なく終了した。

引き続き氏子奉告祭継続の表式が行われ、当大社氏子評議員、総代として永年御奉仕されている方々に宮司より感謝状並びに記念品が贈呈された。

祭典、表式の後、清明殿で氏子、崇敬者多数参加して恒例の鏡餅が催され、一同改めて新穀に感謝した。

宗像大社菊花会 新年総会

平成十四年度宗像大社菊花会新年総会が一月十七日(日)神後(魚屋本店)で開催された。

当日は好天に恵まれ、白波立つ玄界灘を横目午前十一時、九州各県から集まった会員六十二人が参加して開会した。

早速議事に入り、新会員紹介、研修会の案内、また商(株)、第七管区海上保安本部救難課、山田市交通安全協会、上嘉徳警署署長、上嘉徳交通安全協会、上嘉徳安連警署連絡協議会、プリジストン輸送協力会、ミヤフサ建設(株)安全衛生協力会、ジョイロード大分、宗像大社献米奉告祭、(有)前田観光バス参拝団、(有)久保田保険事務所

大広間で新年総会懇親会が催され、玄界灘・海の幸に舌鼓を打ちながら、一同なごやかな一時を過ごした。

九州、田川、高崎、鹿屋、長崎、佐賀、熊本が集まった会員各々が今年の第二十二回西日本菊花大会の再会を約束し、総会を閉じた。



新連載のお知らせ

決断力 その時昭和の経営者たちは

出光興産株式会社 出光佐三氏



出光佐三氏を
転載いたします。
出光興産株式
会社の創業者、故
出光佐三氏は、明
治十八年福岡県
宗像郡赤間(現・
宗像市赤間)に生
まれ、神戸高等商
業(現・神戸大
学)を卒業後、明治四十二年に酒
井商店入店。同四十四年出
光商会設立。昭和七年門司
商工会議所会頭に就任、同
十一年貴族院議員。同十五
年出光興産を設立し、社長
に就任。昭和四十二年会長
者。また一、出光興産株式會

青年会議所理事長挨拶

御宗像青年会議所 第二十八代理事長 沼田敏一



「宗像大社」は私共、地
域住民としての誇りではな
いでしょうか。宗像大社を
軸に由緒有る神社、仏閣が
多く古来より「神郡宗像」
として親しまれています。
また、私共(御宗像青年
会議所)との関わりに於ては、
昭和五十年十一月二十三日
に行われた(御)日本青年会議
所より承認証伝達式会場は
この宗像大社でした。それ
からの二十八年間、青年会
議所の奉仕活動に大変お世
話になっております。
そして何より誇れるのは、
歴代理事長を含む三名の先
輩方がおられる事です。人
生の先輩として、青年会議
所の先輩として、日頃より
指導とご鞭撻を賜っており
ます。これからは是非、宜
しくお願い申し上げます。
さて昨年、夢と希望を持
ち新世紀を迎えました。し
かし現実には頻発する地域
紛争、民族の対立、環境破
壊等の問題が多様化して
います。国内ではパル崩壊
後の経済の低迷、兵に政治、
企業のモラルの不足、凶悪
犯罪の低年齢化、家庭内犯

造営に全力を注がれた。現
在でもその心は出光興産全
社員に受け継がれ、本社は
勿論、関連会社や販売協力
店に至るまで、年間相当数
の「宗像大社詣」という
形となって現れている。
この筆者は宗像市出身の
ジャーナリストであり前宗
像市長の瀧口凡夫氏。九州
大学経済学部卒で西日本新
聞社に入り、東京支社編集
長、本社社説委員、取締役
編集局長などを歴任。昭
和六十二年から三十二年
間、福岡県宗像市長を務め
る。現在、フリーで文筆活
動を行っている。著書に
「創造と可能への挑戦」出
光佐三の事業理念(西日
本新聞社)などがある。
連載に際しまして、快く
承諾を頂きました日本工業
新聞社並びに出光興産株式
会社に誌面をもちまして厚
く御礼申し上げます。

大社の神宝

金指環

Vol. 1



昨年十月号まで「グラス
ロード」を連載したが、今
回は、毎月、数ある当
社神宝の中から一つを選び
紹介していくこととする。
当社神宝を代表する「金
指環」。玄界灘に浮ぶ孤島
沖ノ島の古代祭祀跡から出
した純金製の指輪である。
当社の御神体「沖ノ島」に
は、古代の人々が大陸へ渡
る際、航海安全を祈願した
「お祭り」の跡が幾つも存
在する。この祭祀の形態は
四段階に分かれており、金
指環は四段階のうちの第二
段階に当たる岩陰祭祀七号
遺跡(二世紀―七世紀)か
ら出土した。
内径約一・八センチ。前
面は菱形に広がり、上下
の最大幅は一・二三センチ
である。菱形の左右
端部は上下幅四・三
ミリで帯状に伸び、
最終端を鍍付により
接合している。
菱形の表面には、
円環を中心に四つの
花卉文様が上下左

右に開き、
花弁と花
弁との間
には、一
つずつ配
した四つ
の花弁と
土井と五
つの円環
とで頭わ
した「花」
は、金指
環の表情
を良く象
徴してい
るといえ
る。花文の両側からは、右
に八角、左に七個の円環が
直線状に均等に並べられ、
縁には、上下ともに蛇腹状
に刻んだ金線を貼っている。
花文・円環並びに縁の金線
の接合部が鍍付であり、背後
の接合部が約一・六センチ
に、円環がなく、縁のみ
の装飾である。
古代人の高度な金工技術
と豊かな創造力により誕生
したこの指輪は、千五百年
という空白を感じさせない
程の斬新さを持っている。
奈良県新沢千塚古墳群の
うち五世紀後半前後頃に当
たる二二五号墳から、金
指輪が出土した。この指輪
と同一の花を表現している。
この指輪は正面が半球体
である。菱形の左右
端部は上下幅四・三
ミリで帯状に伸び、
最終端を鍍付により
接合している。
菱形の表面には、
円環を中心に四つの
花卉文様が上下左

である。その表面には、花
文があり、花文の周囲や半
球体の縁には金粒細工が施
されている。
五世紀に大陸との交流が
盛んになると、我国では黄
金文化が開花した。沖ノ島
及び新沢千塚出土の指輪は
丁度この時期のものである。
黄金文化の到来は、南口
シアのヌナイ文化に由来
する、匈奴などの東北アジ
ア系遊牧民族の文化の影響
による。その影響は朝鮮半
島でも見られ、この頃の新
羅の王陵からは、冠・耳飾
などの黄金の装身具が数多
く出土している。それらは
スキタイ系文化につながる
ものを感じさせる。
新羅の王陵からは金製指
輪の出土例もある。中でも
韓国慶州市南大塚南墳出土
のものは、当社金指環と
同様に、正面が菱形で花文
がある。花文の中心の青ガ
ラスの嵌人は、当社金指環
と異なるが、それでも形状
の動に似ている。その表面
が非常に類似している。
当時、倭人による製作が
技術的に可能であること
から、当社金指環は、新羅
製の渡来品か、あるいは、
金指環の表面には、朱の
漆の痕跡が数箇所ある。当
時この指輪は、全て朱で覆
われていたのかもしれない。
古尺の人々は、渡来した
金指環を朱で奉獻する前に、
あえて、朱で覆うことで、
あらゆる恐れからこの黄
金の指輪を守ろうとしたの
ではないだろうか。
(評) 乗馬クラブの乗り初



韓国・皇南大塚南墳出土

第四八八回 宗像大社歌会詠草

大野 展男 選

毎月 25 日 夕刻

光岡 古藤アル子
青春のメッセジ読む若者
に迫力のあり奮闘にみちて
(評) 成人式の一場面か、
四、五句は若者達に対する
応援歌だろうか、若さへのい
き次輩もあがり、若れる。
大島 越智 治子
波荒れて冷めかき風の吹く
一日鳴 百奈湾にひしめく
(評) 寒々とした冬の海の
景をうす描きしている。
「百奈湾にひしめく」
は、そこに住む人々のみ言
える表現である。
田野 森 つるの
柿の木に遊ぶ五六羽交代に
飛び来て渡るの日和を
(評) 鶴でなく鳩であるこ
とが珍しい。珍しい故に出
来た作品か、越智作品の海
の動に対する静の一日。
吉留 高山 信子
物体なき輪思ふ八十七歳
朝のめざめに言ひ難くて泣
(評) 八十七歳ともなれば
それは大層である。その齢
(よわい) を生きた感慨が
「物体なき」であり「言ひ
難くて泣く」である。生きる
苦悶を詠って技巧的でない
のがよい。
宮司 宗像 温子
波瀾りて馬を走らすをみな
この類は懐た新春の風受
け
(評) 乗馬クラブの乗り初
めの景であらう。「をみな
この類は懐た」がいささ
とす玻璃戸をすまき立つ黒
き山
神 湊 中山 千鶴
さわやかに襟風に吹く風は
太古の波にながらあるか
(評) 原始の時代からある
海であるが、作者の心には
宗像の神々に対する祈りが
あるのかも知れない。豊か
な心のゆとりが感じられる。
武丸 中村 清子
晴天が忽ち雨となり朝車連
ねて初詣でする
曲 天野 玲子
南極へ向う「白瀬」が割り
て行く氷の音をマイクが捉
える
朝野 藤井 浩子
しんと足踏冷々々々々
に七草過ぎるの入院知ぞ
なし
光陽台 香月 照子
今年こそ母の花の咲くこ
とを願ひて眺む春浅庭
自由ヶ丘 細川 絹子
数枚が枝に残りし紅葉の葉
うちふるわせた冬の雨降る
日の里 大和菜田紀
連発の竹爆せる音聞てえ来
てどんどの煙燻に見ゆる
日の里 佐藤 純一
容赦なくコトの襟をうつ
葉寒を倍加す列車を待つ間
に
城南ヶ丘 中間日出子
流星群見しと少し誇りつ
つわれに語れ孫はなやぎ
あり

(ご案内)

この社報「宗像」に掲載する短歌、俳句を毎
月二十五日締め切りで募集していただきます。
希望の方は、宗像大社歌会まで御送付願
います。また、短歌の勉強会である互選会も、
毎月第三土曜日に当社大社斎館に於て開催
しておりますのでどうぞご参加下さい。

宗像大社歌会 俳句作品集(四六三)

東郷 田中 憲象
手廻いにひたりて息の白し
かな

自由ヶ丘 細川 絹子
葉かげよりちらほら見ゆる
さんかの

日の里 花田いつ枝
誰が絵馬か天辺に読む松の
内

東郷 吉武 湧泉
己が顔撫でてつぶやく初鏡

東郷 吉田 杏子
積む雪に冬眠したし人苦も
静かなる暮しつづきぬ連如
の忌

東郷 田中 雨葉
式服に風通す日の寒千雨

東郷 大石
明日も着ぬ服をたたみて年
惜む

東郷 木原 房子
大学卒業や頼智に客を寄
せ

福岡 森 清
春の陽に青燐光る魚呑めり

光岡 井上 嘉治
仰臥(ぎようが)せる犬の
腹暖き運日かな



(続) 浜の寄物

163

いししいただし

十二月イカ拾いで玄界沿
岸は賑わっている。今年も漂
着が多く、それに連日テレ
ビと新聞、ラジオで報道さ
れているためか、浜は人が
絶えない。

津屋崎宮司浜で海を見
ていたら、北九州からレビ
を連れて来たという人に出
会った。「イカを引っかけると
ば作ってきた」と言っ
て語らけてくる。「一緒に拾
いませんかはいました。」
津屋崎や福岡漁港の護岸
やコンクリート道路には、
イカを引き上げたときに、
イカの吐く墨がいたるところ
についている。



さて十一月二四日、漂着
物天を立ち上げた。高知
県幡多郡大分町を学会の事
務局に置き、海や漂着物の
好きな人であれば入会でき
る。よびかけの趣意書から
「漂着物とは、海岸に打ち
よせられるもので、その大
部分には海流や風の影響
その中には海流や風の影
を受けながら異国や海底か
ら寄せられて来るものもあ
り、それは動・植物・歴史・
民俗まで種々の内容を包含
している。」
日本での漂着物をい
早く注目したのは民俗学の
巨匠柳田国男であった。

は四面環海である。海岸の
総延長は約二万三千里あり
よせられるもので、その大
部分には海流や風の影
その中には海流や風の影
を受けながら異国や海底か
ら寄せられて来るものもあ
り、それは動・植物・歴史・
民俗まで種々の内容を包含
している。」
日本での漂着物をい
早く注目したのは民俗学の
巨匠柳田国男であった。

話題の新車紹介 ホンダ「ザッツ」

ホンダ「ザッツ」

ホンダから新しい軽自動
車「ザッツ」が発売されま
した。

軽自動車を手アストカー
として考え、新しいモノに
敏感で、さりげなく、目立
たない、生活リズムに合っ
た等身大のクルマ、一緒に
生活していけるクルマを求
めている方々を目標に開発
されたのが「ザッツ」です。

線が少なく分だけ面のハリ
らしくないクルマをデザイ
ンしました。線を減らし、

線が少ない分だけ面のハリ
らしくないクルマをデザイ
ンしました。線を減らし、

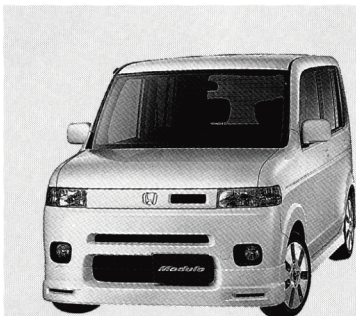
広いキャビン
とに広く広いんです。乗
員四人がゆったりくつろげ
る快適空間を創造しまし
た。

軽量化で心配な振動、騒
音もホンダの技術力で低減
衝突安全性能も軽自動車
トップレベルを確立しまし
た。

ホンダで飾らないモノ
デザイン。とにかく広いキャ
ビン。側面共に三間、
切妻造り、表
入り、向拝一
間、棧瓦葺き
で、棟札にまとも明治廿年
(一八七七) 建立されたと
ある拝殿があり、その先に
は正面・側面共に一間、杉
皮葺きの神明造りで、棟札
によれば明治十七年(一
八八四) 建立の本殿がある。
御縁起に八百八拾のひとつ
として「酒田明神」また
「酒多明神」と見え、十四
世紀半ばの正年中行事に
は七十五社の一つとして
上高宮下符社のうちに「酒
田明神」と、また同高宮下
符神社の條には祭礼日の記
述もある。

右下方に雄大
な宗像神社を臨む、
宗像郡津屋崎町
大字奴山字音ヶ
浦に鎮座するこ
の酒多神社は、古えより上
練原と下練原の共有の産神
として崇められており、現
在も境内は整然とされ、厳
かにたたりだしている。

宗像郡津屋崎町
大字奴山字音ヶ
浦に鎮座するこ
の酒多神社は、古えより上
練原と下練原の共有の産神
として崇められており、現
在も境内は整然とされ、厳
かにたたりだしている。



求しま
した。
四角い
の丸
く感じ
る優し
さをシ
ンプル
さで表
現して
います。
わざ
とらし
くなく、
それで



クルで未來的な
色を揃えました。ス
タンダードカラー。メ
タリックを基本と
したスペシャルカラー
七色の十四色の中か
ら選んで頂けます。

宗像市徳重八四七三
三(宗)三三一九八〇

宗像市徳重八四七三
三(宗)三三一九八〇



宗像神郡末社めぐり

二十一、酒多神社

宗像大社津屋崎の鎮座す
る宗像郡玄海町島島から宿
谷を抜けて、通称逢坂峠を越
えて津屋崎奴山に入り、
交差する国道四九五線を
福間方面へ左折し、五十
メートルも走ると舗装されてい
ない小道が左
手にある。
その小道を
四百メートル
程上ると、左
前方に近年修
復されたと思
われる白土壁
と「酒多宮」
の扁額が掲げ
られた石鳥居
が見えてくる。
鳥居をくぐ
り十三段の石
段を上ると、
約百五十坪の
境内に、正面・
側面共に三間、
切妻造り、表
入り、向拝一
間、棧瓦葺き
で、棟札にまとも明治廿年
(一八七七) 建立されたと
ある拝殿があり、その先に
は正面・側面共に一間、杉
皮葺きの神明造りで、棟札
によれば明治十七年(一
八八四) 建立の本殿がある。
御縁起に八百八拾のひとつ
として「酒田明神」また
「酒多明神」と見え、十四
世紀半ばの正年中行事に
は七十五社の一つとして
上高宮下符社のうちに「酒
田明神」と、また同高宮下
符神社の條には祭礼日の記
述もある。



男命とも、酒多明神
酒瀧豆女命ともある。
更に統風古記附録宗像郡
上には、「奴山村、社オト
ガウラ」とあり、同拾遺十
九には、奴山村の酒多神社
は、宗像末社に高宮下符
二十五所の内、酒田明神と
あるのがこれであるとして
工女兒比賣・応神天皇を奉
祀しているが、これは昭和
四年八月三十一日付近の
新原地区鎮座の縫殿神社を
合祀した時の御願である。
境内社として、保食神
社が鎮座し、倉稲魂神、事
代主神・菅原神が奉祀され
ている。このうち事代主神・
菅原神は、新原
鎮座の縫殿神社
の境内社であ
った恵比須神社と
菅原神社の御祭
神を、昭和四年
に合祀したとさ
れている。
また拝殿左手
には阿弥陀堂も
あるが、筑前国
統風古記拾遺に
「宮司村修験吉
祥院奉祀す。」
とあった名残で
もあろうか。